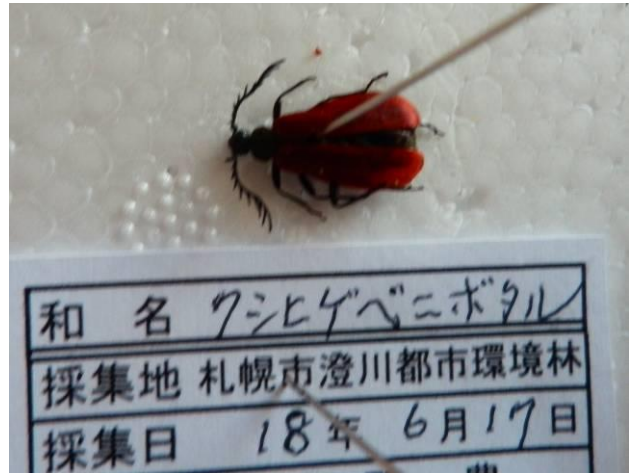


## クシヒゲベニボタル

澄川都市環境林の昆虫標本を作るときを6月8日の幹事会で承認していたたきましての、活動初日は2018年6月17日親子森林教室と重なりました。あいにくの曇り空で冷たい風が吹く気温17℃くらいの涼しさで、虫の活動が鈍い日でしたので、10種14個体の収穫にとどまりました。これまでに当協会のホームページ自然シ



リーズの、虫の欄で紹介したものが殆どですが、ただ1種、紹介していないものがありました。上の写真、クシヒゲベニボタルです。標本にすべく針を刺したところ。甲が軟らかいので、上翅の会合線が離れていますが、これはこの種の特徴でもあります。この個体は触角が櫛



状です。♀の触角は鋸歯状で、その状態がよく分かる画像がネットにありましたので拝借いたします。交尾の場面で、上に乗った♂と下の♀との触角をよくよくご確認ください。

分布はほぼ日本全土、外国の事情はよく分かりません。出現は6~7月、北海道では8月まで。大きさにはかなりのばらつきがありまして、9~20mmとのこと。♀の方が大きくなります。食べ物は成虫になってからは水だけらしいです。幼虫についてはさっぱりわかりません。

愛用の図鑑「札幌の昆虫」をめくっていましたが、右下の写真のような変な蛾が見つかりました。セグロベニトゲアシガといいます。明らかにベニボタルに擬態しているわけで、虫の世界は複雑怪奇でありますな。

(記 高野)

